

ひらがな
平仮名にも
トレンドがあった!?

— 国語科書写用教科書における平仮名を見てみよう —

北山 聡佳

奈良教育大学 美術教育講座

ひらがな

平仮名にもトレンドがあった！？

－ 国語科書写用教科書における平仮名を見てみよう －

奈良教育大学 美術教育講座 北山 聡佳

1. はじめに ー唯一の正しい平仮名なんてないー

平仮名には、実は唯一の正しい形は存在しません。小学校で先生から平仮名の正しい書き方を習ったと思いますが、実はそれは学校によって、教科書によって、あるいは先生によって少しずつ違うのです。平仮名の正しい形はたくさんあるとも言えます。

「や」をどのように書きますか（書いてみてください）。ある子どもに、私の書いた「や」が間違っていると指摘され、正しい形を書いて見せてくれたことがあります。私の「や」が図1の左、その子どもの「や」が右で

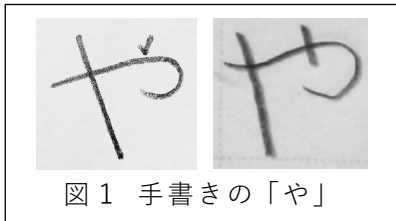


図1 手書きの「や」

す。その子は、私の「や」は「や」ではないと主張しました。なぜなら、学校の先生が1画目と2画目は交わり、2画目の終わりは止めるのが正しいとその子に言ったからです。

これを読んでいる皆さんは、図1をどちらも「や」と読めるでしょう。それは、私たちが文字を読み書きして習得しながら文字の「概念」を覚えていくため、どんなフォント（文字のスタイル、デザイン）であってもその範囲内であれば読み書きができるようになるからです。しかし、平仮名を書くことを覚える段階では、そうはいきません。だから、とりあえず正しい形は一つであるかのように教えます。でも、正しい形が一つではないことを知ることも重要なのです。

2. 平仮名はまだ進化している！？

しかし、平仮名はどんな形でもよいわけではありません。平仮名の成り立ちについて別の E-book¹ で触れましたが、現在の平仮名は長い歴史の中で少しずつ変化してできました。歴史的にみると、先ほどの「や」はどちらも正しいと言えます。そして、現在でも唯一の字形²に統一されていないように、やはり平仮名字形はどんどん変化しています。日常の筆記用具の変化や横書きの主流化、活字の登場など、その要因はさまざまです。

誰もが見る正しい平仮名字形の基準が、例えば学校の教科書（「書写」の手書き見本など）にあります。そして、教科書によって、正しい字形はさまざまです（教科書は各教科いくつか種類があります）。誰でも自分の使う教科書しか見ないと思いますが、他の学校のものや、違う時代のものを見てみると、実にさまざまな平仮名字形が存在します。しかも、それらの字形は時代によって少しずつ変化しており、^{トレンド}流行のようなものが見てきます。ここでは、正しい平仮名字形がたくさんあることの是非などは考えず、平仮名を習得している皆さんに、その流行を紹介したいと思います。平仮名を書きながら読み進めてみてください。

3. 今の教科書にも字形の違いがある

各教科の教科書は、文部科学省の検定に合格してから、各学校で使用されます。例えば現在（2022年度）は、小学校書写用教科書は5種類³あり、各学校がそれらから1種類を選んで使っています。そして現在に続くこの教科書検定制度が始まったのが、戦後のことでした（それ以前にもありましたが、途中でなくなり、復活しました）。

さて、現在の小学校1年生書写用教科書から、手書きの平仮名を見てみましょう。表1に、その5種類の教科書から7つの平仮名をそれぞれ取り出してきました。皆さんもこれらを書いて比べてみてください。表1をよく見ると、字形に違う点がありませんか。例えば、「せ」の2画目は、まっすぐに書かれたり、やや曲げて書かれたりします。また最後ははねたり止めたりします。「た」「な」の3画目の最後もそうです。「た」の3画

目と4画目の終わりの相対的な位置（どちらが右にあるか、同じくらいか）も違います。「な（4画目）」や「む（2画目）」、「る」の回旋している部分はど
うでしょう。形がそれぞれ異なり、折れるところや曲げるところが少しずつ違
います。「や」の2画目は、どんな形で
すか。「れ」の最後は、どの方向へ向か
いますか。

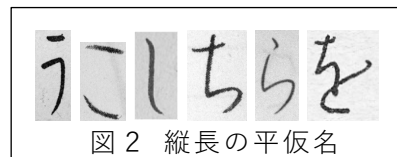
細部をよく見ると、このように教科
書の平仮名字形には異なる部分がたく
さんあります。さらに時代を遡ると、も
っと多くの平仮名字形が登場します。

表1 現在(2022年度)の小学校
1年生書写用教科書の平仮名字形

東京 書籍	学校 図書	教育 出版	光村 図書	日本 教出 版

4. 戦後の教科書における流行平仮名字形

戦後に横書きが増えたため、多くの平仮名
は縦長から幅が広くなる傾向です。「う」や
「こ」「し」「ち」「ら」「を」は、縦長が主流で

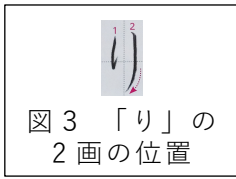


した（図2）。そして単純にだんだん幅が広くなるのではなく、時代によ
って変化します。「う」は、昭和の終わり頃から平成の始めにかけて幅の
広さのピークを迎え、その後再びやや狭くなる傾向です。また「り」も同
じような

変化をし
ています
（表2）。
因みに、
「り」の
1画目と
2画目の
書き始め

表2 「う」と「り」の変化

出版社名 使用 年度 (年度)	東京 書籍	学校 図書	教育 出版	光村 図書	大阪 書籍	日本 書籍	中教 出版
1983(昭和 58) ~ 1985(昭和 60)							
1986(昭和 61) ~ 1988(昭和 63)							発 行 し な し
1989(平成元) ~ 1991(平成 3)							発 行 し な し
1992(平成 4) ~ 1995(平成 7)							発 行 し な し



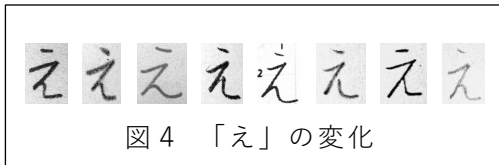
の相対的位置も変化しています。平成に入ってから同じ高さのものが主流となりましたが、現在も2画目の書き始めの方が高くなるものがあります(図3)。

表3 「せ」の変化

出版社名 使用 年度(年度)	東京 書籍	学校 図書	教育 出版	光村 図書	大阪 書籍	日本 書籍	中教 出版
1953(昭和 28)	せ	せ	せ	せ	発行 なし	せ	せ
1971(昭和 46) ~ 1973(昭和 48)	せ	せ	せ	せ	せ	せ	せ

一方、現在の方が縦長の形になっている平仮名もあります。「せ」は戦後の教科書では扁平な概形が主流でしたが、だんだん縦長になり、現

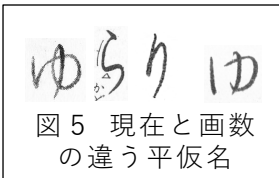
在のようになりました(表3、表1)。横長から縦長に変化する平仮名は珍しいですが、「え」は昔からさまざまな概形があり、縦長になったり横



長になったりして現在の形になりました。図4に挙げるように、戦後の教科書には、さまざまな概形のものがありま

す。

さらに画数にも変化があります。「ゆ」「ら」「り」は何画ですか。現在



はどの教科書でも2画ですが、以前は一続きで書かれているものもありました(図5)。しかしこれは少数で、流行ではないようです。戦後の教科書において「ゆ」

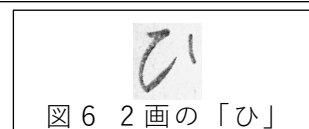
は1967年度まで、「ら」は1960年度まで、「り」は1970年度まで一続きで書くものがありました。さらに、「ゆ」には、3画のものもありました(図5右)。また「り」については、1画目の最後をはねず、片仮名のように書いているものもたくさんあります。それらは徐々に減り、1986年度からすべての教科書で、はねとなりました。

また、現在、教科書にはないのに、多くの人が書いている平仮名字形があります。それは2画の「そ」です。1950年代の教科書では、2画が流行でした。書写における平仮名字形は、書き易いよう変化する傾向にありますが、「そ」はどちらが書き易いのか、人によるのかもしれませんが、2画の「そ」は徐々に1画が主流となり、1971年にはついに1社の教科書に

しか見られなくなりました。そして平成に入り、すべての教科書において「そ」は1画となったのです(表4)。同じく「ひ」も、2画のものがありましたが(図6)、こちらはもう少し早く、1画に統一されています。

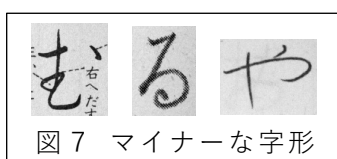
表4 「そ」の変化

出版社名 使用 年度(年度)	東京 書籍	学校 図書	教育 出版	光村 図書	大阪 書籍	日本 書籍
1989(平成元) ~ 1991(平成3)						
1992(平成4) ~ 1995(平成7)						



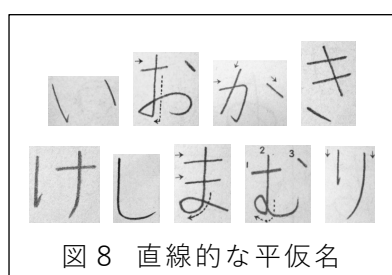
5. マイナーな平仮名のかたち

教科書にはまだまだ多くの平仮名字形の流行がありますが、ここからはマイナーな字形を紹介します。今の教科書で統一されている形を基準として、異なるものを取りあげます。



「む」はどのように書きますか。戦後のある教科書には、図7(左)のような形が登場しています。2画目の回旋の動きをした後、2画目の縦画より右へ出してから左に戻るよう書かれています。1955年度から1960年度まで、この出版社による教科書だけに登場します。また、「る」の最後が接さない書き方もありました(図7中央)。これは、いくつかの教科書に見られ、1968年度にはなくなりました。はじめに触れた「や」は、実にさまざまな形がありますが、3画目の終わりに注目すると、はらいになっているものがいくつかありました(図7右)。

小学生が鉛筆で書き易いように、文字の雰囲気や書き方(鉛筆の運び方や筆圧)にも各教科書で工夫がなされていますが、ある教科書では、ある時期に、すべて同じ筆圧(太さ)で、できるだけ直線を用いて平仮名の見本を提示しています(図8)。これは、同時期の他の教科書に比べてもかなり細い線で書かれているため、それぞれの動きが見えやすく、「む」などでは交点をはっきりしています。はねるところを最小限にしていることも分かり



ます。しかし、この表現は次の改訂時にはなくなりました。やはり平仮名らしい曲線的な表現や、鉛筆でもできる筆圧の変化は、今も教科書において多用されており、平仮名にとって重要な特徴の一つとなっています。

6. おわりに

平仮名は日本で生まれ、時代とともに変化し、日本の伝統文化でもあると思います。皆さんもさまざまな平仮名字形に注目し、これからも気持ちを込めて平仮名を書き、お気に入りの形を見つけてください。

注

- 1 奈良教育大学E-book出版会 北山聡佳『仮名書道はジグソーパズル—仮名文字を使った表現方法—』参考URL：<https://www.nara-edu.ac.jp/PRESS/ebook/book032.html>(最終閲覧2023年1月30日)
- 2 字の形を「字形^{じけい}」といいます。
- 3 渡部清ほか著「みんなとまなぶ しょうがっこうしょしゃーねん」学校図書、加藤祐司ほか著「しょうがく しょしゃーねん」教育出版、平井精逸ほか著「あたらしい しょしゃー」東京書籍、池田利広ほか著「しょうがくしょしゃーねん」日本文教出版、宮澤正明ほか編「しょしゃーねん」光村図書の5種類(いずれも2020年発行、2020年度使用開始)

< 図版典拠 >

- 図1 稿者及びある子どもの手書き文字より作成
- 図2 左から、藤村作編「かきかた1の上」教育出版 1952年、川淵勝男編「しょうがくしんかきかたーねん上」若草書房 1952年、黒田筑川書「小学かきかた1ねん上」国民図書刊行会 1951年、石黒修編「こくごかきかた1年上」東京修文館 1954年、中田幹一書「かきかた1ねん」大日本図書 1960年、西脇呉石ほか著「しょうがくかきかた1ねん」春陽堂出版 1951年より作成
- 図3 前掲注3 「あたらしい しょしゃー」東京書籍より作成
- 図4 左から、金田心象著「小学校書き方 こうま」日本教図 1951年、続木敏郎著「かきかたのほん1ねん上」二葉 1951年、秀英出版編集部著「たのしいかきかた1ねん」秀英堂 1951年、井上桂園ほか著「かきかた1ねん」中教出版 1953年、狩田義次ほか著「しょうがくしんかきかたーねん上」若草書房 1952年、井上桂園著「しょうがくかきかたーねん上」大阪書籍 1955年、手島右卿ほか著「かきかた上ーがくねん」文学社 1957年、輿水実ほか著「かきかたーねん上」日本書院 1958年、続木湖山ほか著「標準かきかたーねん上」教育出

版 1961年 より作成

図5 左から、藤田民次著「改訂あたらしいかきかた1ねん上」東京書籍 1953年、金田心象著「標準しょうがくかきかた1ねん上」教育出版 1956年、西脇呉石ほか著「しょうがくかきかた1ねん」春陽堂 1950年、新教育教材研究会著「わたくしのかきかた1」緑風図書 1950年より作成

図6 石橋啓十郎ほか著「かきかた一」学校図書 1951年より作成

図7 左から、金田心象編書「標準しょうがくかきかた1年上」教育出版 1956年、井上桂園書「かきかた1ねん上」中教出版 1952年、麻生磯次ほか著「かきかた1ねん」大日本図書 1960年より作成

図8 石森延男編「しょうがくかきかた1ねん上」光村図書 1960年より作成

表1 前掲注3現行の小学校第一学年書写用教科書における50音表より作成

表2 下記教科書より作成（出版社ごと古い順に掲載）【東京書籍】飯島春敬ほか著「改訂あたらしいかきかた1」1982年、飯島春敬ほか著「新編あたらしいかきかた1」1985年、飯島春敬ほか著「新訂あたらしいかきかた一」1988年、飯島春敬ほか著「あたらしいかきかた一」1991年、【学校図書】石橋犀水ほか著「しょうがっこうかきかた一ねん」1982年、石橋犀水ほか著「しょうがっこうかきかた一ねん」1985年、石橋犀水ほか著「しょうがっこうかきかた一ねん」1988年、石橋犀水ほか著「しょうがっこうかきかた一ねん」1991年、【教育出版】西尾実ほか著「しょうがくかきかた一ねん」1982年、松村明ほか著「新訂しょうがくかきかた一」1985年、松村明他著「改訂しょうがくかきかた1」1988年、今井潤一ほか著「新版しょしゃ1」1991年、【光村図書出版】石森延男ほか著「しょうがくかきかた一ねん」1982年、石森延男ほか著「しょうがくかきかた一ねん」1985年、石森延男ほか著「しょうがくかきかた一ねん」1988年、金子鷗亭ほか著「かきかた一ねん」1991年、【大阪書籍】大館允雄ほか著「しょうがくしょしゃ一ねん」1982年、大館允雄ほか著「しょうがくしょしゃ一ねん」1985年、大館允雄ほか著「しょうがくしょしゃ一ねん」1988年、大館允雄ほか著「しょうがくしょしゃ一ねん」1991年、【日本書籍】岡本白濤ほか著「しょうがくかきかた一ねん」1982年、岡本白濤ほか著「しょうがくかきかた一ねん」1985年、岡本白濤ほか著「しょうがくかきかた一ねん」1988年、岡本白濤ほか著「わたしたちのしょうがくしょしゃ一ねん」1991年、【中教出版】今井凌雪ほか著「かきかた1ねん」1982年

表3 下記教科書より作成（出版社ごと古い順に掲載）【東京書籍】藤田民次著「改訂あたらしいかきかた一ねん上」1952年、飯島春敬ほか著「あたらしいかきかた1」1970年、【学校図書】石橋啓十郎ほか著「かきかた1ねん」1952年、上条信山ほか著「しょうがっこうかきかた一ねん」1970年、【教育出版】藤村作ほか著「かきかた1の上」1952年、西尾実ほか著「新版標準かきかた一ねん」1970年、【光村図書出版】石森延男編「かきかた1ねん上」1951年、石森延男ほか著「しょうがくかきかた一ねん」1970年、【大阪書籍】井上政雄ほか著「しょうがくかきかた一ねん」1970年、【日本書籍】金田心象著「しょうがくかき

かた1ねん上」1952年、石井庄司ほか著「しょうがくかきかた一ねん」1970年、
【中教出版】井上桂園ほか著「かきかた一ねん上」1952年、井上桂園ほか著
「かきかた一年」1970年

表4 下記教科書より作成（出版社ごと古い順に掲載）【東京書籍】飯島春敬ほ
か著「新訂あたらしいかきかた1」1988年、飯島春敬ほか著「あたらしいかき
かた一」、【学校図書】石橋犀水ほか著「しょうがっこうかきかた一ねん」1988
年、石橋犀水ほか著「しょうがっこうかきかた一ねん」1991年、【教育出版】
松村明ほか著「改訂しょうがくかきかた1」1988年、今井潤一ほか著「新版し
ょしゃ1」1991年、【光村図書出版】石森延男ほか著「しょうがくかきかた一
ねん」1988年、金子鷗亭ほか著「かきかた一ねん」1991年、【大阪書籍】大館
允雄ほか著「しょうがくしょしゃ一ねん」1988年、大館允雄ほか著「しょう
がくしょしゃ一ねん」1991年、【日本書籍】岡本白濤ほか著「しょうがくかき
かた一ねん」1988年、岡本白濤ほか著「わたしたちのしょうがくしょしゃ一
ねん」1991年

北山 聡佳 (Satoka KITAYAMA)

2010年 京都大学大学院人間・環境学研究科
修士課程修了（人間・環境修士）
2014年 同博士後期課程単位取得退学
2011年～2012年 中国美術学院にて中国政府奨学金留学生
として書道を学ぶ。書道教室主宰、中学高校教師
（国語・書道）を経る。
2018年 奈良教育大学 特任准教授
2019年 同准教授



【研究テーマ】

仮名書道の作品をつくるために、どんな古筆を参考にすれば、どんなおもしろい表現ができるのかを研究しています。また、書写教育におけるひらがなの教育や、高校書道における仮名の教育についても研究しています。現代の人と「仮名」の関係について考え、「仮名」のおもしろさを多くの人に伝えたいと思っています。

【好きな古筆】

昔(平安時代や鎌倉時代など)の優れた仮名の作品を、「古筆」といいます。そのなかでも「香紙切」が好きです。筆画の動きと質、粗密や余白など、さまざまな変化が好きです。

【趣 味】

つくること。手芸や図画工作、園芸など、細かいことを考えてやってみることが好きです。

【好きな動物】

ねこ。かわいくて気まぐれなところもいいと思います。

【好きな色】

みどり。書道の紙は色も柄もたくさんあります。古筆にもカラフルなものがあり、見ているだけで楽しく感じます。いつかきれいな緑色の紙に納得のいく作品を書きたいと思っています。今はまだ、きれいな紙に書こうとすると緊張してしまいます。

平仮名にもトレンドがあった！？

— 国語科書写用教科書における平仮名字形を見てみよう —

著者 きたやま さと か
北山 聡佳

2023年 3月31日 第1版

奈良教育大学出版会

〒630-8528

奈良市高畑町

TEL: 0742 (27) 9343 FAX: 0742 (27) 9147

E-mail: g-kenkyu@nara-edu.ac.jp

URL: <https://www.nara-edu.ac.jp/PRESS/>